

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM210101
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	社会科学 III (政治)			担当者	黒田 茉莉花		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『地方初級・国家一般職（高卒者）問題集 社会科学 第2版』						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである社会科学の知識を基とし、試験対策として演習問題を行う。						
到達目標	公務員試験の社会科学分野（政治）で60%以上の得点を挙げる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題を採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

授業計画

回	単元	内容	備考
1	民主政治	演習問題（社会契約説、権力分立、近代民主主義の歴史、法の支配と法治主義、世界の政治体制）	
2	日本国憲法	演習問題（大日本帝国憲法と日本国憲法の比較、日本国憲法の特徴、天皇の国事行為、憲法改正）	
3	基本的人権	演習問題（国民の権利及び義務、公共の福祉、新しい人権、主な訴訟）	
4	立法権・国会	演習問題（三権分立、衆議院と参議院の比較、国会の種類、国会の権限、衆議院の優越）	
5	行政権・内閣	演習問題（内閣の組織、内閣の権限、内閣総理大臣の職務と権限、内閣の総辞職）	
6	司法権・裁判所	演習問題（司法権の独立、三審制、最高裁判所違憲判決、裁判員制度）	
7	地方自治	演習問題（地方自治のしくみ、地方公共団体の仕事、直接請求の制度、地方公共団体の財源）	
8	選挙制度と政党政治	演習問題（民主選挙の四原則、選挙制度、政党制の特徴、ドント方式による当選人の決定方法）	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM210201
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	人文科学 IV (日本史)			担当者	若田部 正行		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 人文科学 第2版』						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである人文科学(日本史)の知識を基に、試験対策として演習問題を行う。						
到達目標	公務員試験の自然科学分野で60%以上の得点を挙げる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題を採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

授業計画

回	単元	内容	備考
1	鎌倉時代	演習問題（鎌倉幕府の成立、公武二重政権、鎌倉御家人制度、幕府の滅亡）	
2	健武の新政～室町時代	演習問題（健武の親政、室町時代、応仁の乱）	
3	戦国時代～桃山時代	演習問題（戦国大名の領国支配、桃山時代（織豊）時代）	
4	江戸時代	演習問題（幕府解説、大名の統制、農民統制、外交、正徳の治、享保の改革、寛政の改革、天保の改革）	
5	江戸時代末期	演習問題（開国、倒幕運動の展開、安政の大獄、幕府の滅亡）	
6	明治初期	演習問題（戊辰戦争、新政府の基本方針及び政策、征韓論と不平士族の反乱、自由民権運動）	
7	明治中期～太平洋戦争	演習問題（資本主義の確立、列強の中国進出、日露戦争、韓国併合、二つの世界大戦）	
8	終戦後	演習問題（政治の民主化と新憲法の成立、占領政策の転換、55年体制と高度経済成長）	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM210301
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	資料解釈II			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 資料解釈						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである資料解釈の知識を習得する。						
到達目標	公務員試験の資料解釈分野で満点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	資料解釈の基礎	資料解釈学習上基礎となる計算の解説。	
2	構成比	構成比のグラフ問題解説。	
3	構成比	構成比の表問題解説。	
4	増減率	増減率のグラフ問題解説。	
5	増減率	増減率の表問題解説。	
6	指数	指数のグラフ問題解説。	
7	指数	指数の表問題解説。	
8	特殊なグラフ	特殊なグラフ問題解説。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM210401
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	自然科学Ⅳ（生/地）			担当者	戸谷 幸永		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 自然科学						
科目概要	公務員試験の教養科目である自然科学の生物・地学分野を習得する。						
到達目標	公務員試験の自然科学分野で50点以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	生物・細胞構造 生物・植物の調節作用	生物・細胞構造 解説と演習。 生物・植物の調節作用 解説と演習。	
2	生物・同化と異化 生物・動物の恒常性	生物・同化と異化 解説と演習。 生物・動物の恒常性 解説と演習。	
3	生物・神経系 生物・遺伝子	生物・神経系 解説と演習。 生物・遺伝子 解説と演習。	
4	生物・生殖と発生 生物・生物の進化	生物・生殖と発生 解説と演習。 生物・生物の進化 解説と演習。	
5	生物・生態系と環境 地学・地球の構造	生物・生態系と環境 解説と演習。 地学・地球の構造 解説と演習。	
6	地学・気圧と風 地学・岩石	地学・気圧と風 解説と演習。 地学・岩石 解説と演習。	
7	地学・地殻変動と地震 地学・地球と星の運動	地学・地殻変動と地震 解説と演習。 地学・地球と星の運動 解説と演習。	
8	生物・問題演習 地学・問題演習	生物・問題演習 解説と演習。 地学・問題演習 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM210501
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	文章理解 II			担当者	尾内 由美子		
	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	国家公務員・地方初級<3>文章理解・国語・文学・芸術 (オープンセサミシリーズ) 第2版 (東京アカデミー編)						
科目概要	9月から始まる公務員試験に向けて、着実に力を付けるために、現代文の読解方法を身に付ける。指示語や接続詞の使われ方の他、語彙力を高め、文章の構造などを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙力を付ける (意味や読みのわからない言葉がないようにする) 2. 指示語や接続詞の使い方を理解する 3. 同意の箇所の見極めができるようにする 						
評価方法	授業内の小テストやプリントへの取り組み、統一試験の結果で総合的に成績を付ける。						
課題に対する フィードバック	テストを実施したものを返却する、一度授業で行ったことを次の授業の冒頭で問いかけるなどしながら復習を行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	傾向と対策	出題傾向、指示語、接続語、キーワード 選択肢の読み方	
2	趣旨把握・内容合致①	練習問題1～15	
3	趣旨把握・内容合致②	練習問題16～30	
4	趣旨把握・内容合致③	練習問題31～46	
5	文章整序①	練習問題47～50、練習問題51～60	
6	文章整序②	練習問題61～70	
7	空欄補充	練習問題71～90	
8	まとめ問題・古文	文章理解・国語総合問題・古文	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM210601
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	数的推理III			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 数的推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の数的推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	排反事象の確率	排反事象の確率 解説と演習。	
2	余事象	余事象 解説と演習。	
3	独立な試行	独立な試行 解説と演習。	
4	独立な試行と排反事象の組合せ	独立な試行と排反事象の組合せ 解説と演習。	
5	反復試行	反復試行 解説と演習。	
6	問題演習	問題演習	
7	問題演習	問題演習	
8	問題演習	問題演習	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM210701
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	判断推理 III			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 判断推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である判断推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の判断推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	手順	手順 解説と演習。	
2	曜日	曜日 解説と演習。	
3	パターン外問題	パターン外問題 解説と演習。	
4	平面図形（平面構成）	平面図形（平面構成） 解説と演習。	
5	平面図形（軌跡）	平面図形（軌跡） 解説と演習。	
6	立体図形（正面図形）	立体図形（正面図形） 解説と演習。	
7	立体図形（立体の構造）	立体図形（立体の構造） 解説と演習。	
8	過去問演習	過去問演習	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM210801
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験総合対策I			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 数的推理 判断推理 資料解釈						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理・判断推理・資料解釈を習得する。						
到達目標	公務員試験の理系分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	数的推理文章題	数的推理文章題 解説と演習。	
2	数的推理文章題	数的推理文章題 解説と演習。	
3	数的推理文章題	数的推理文章題 解説と演習。	
4	判断推理命題・論理	判断推理命題・論理 解説と演習。	
5	判断推理命題・論理	判断推理命題・論理 解説と演習。	
6	判断推理命題・論理	判断推理命題・論理 解説と演習。	
7	資料解釈構成比	資料解釈構成比 解説と演習。	
8	資料解釈構成比	資料解釈構成比 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM210901
開講期	I期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	模擬試験II			担当者	黒田 茉莉花		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験 初級・III類 過去問 業者模試(TAC)						
科目概要	公務員試験の教養科目の模擬試験を実施する。						
到達目標	公務員試験教養科目で6割超の正答ができるようにする。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、毎回の模擬試験の結果を60点満点換算し、合計点で評価する。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	実施したテストの採点をし、問題ごとと個人ごとのデータ蓄積を行う。学科内順位や各自の得意単元苦手単元をフィードバックし、日々の勉強方針を立てる上での指標とさせる。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
2	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
3	地方初級過去問	地方初級過去問 模擬試験と解説。	
4	業者模試	業者模試 模擬試験と解説。	
5	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
6	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
7	地方初級過去問	地方初級過去問 模擬試験と解説。	
8	業者模試	業者模試 模擬試験と解説。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	選択	単位数	1	科目コード	2KM
開講期	Ⅳ期	形態	実習	配当時間	24	対象年次	1年次
学科名 コース名	会計ビジネス						
科目名	就職研究Ⅱ			担当者	松谷・三ツ井・長谷川・関口・内山・大橋・鈴木・末本・横塚・荒井・大熊・尾内		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	特になし						
科目概要	履歴書などの応募書類について準備を終え、実際の会社訪問や採用試験における実践的な対策を行っていく。特に採用試験では面接が重要視されているため、人前で自分の言葉で話ができる。自身の特徴を捉え的確にアピールすることができる。という点を重要課題として進めて行く。また、就職関連行事の「春季合同企業説明会」に対する説明を含む内容とする。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人前で、自分の言葉で話ができる ・自身の特徴を捉え、的確にアピールすることができる 						
評価方法	自宅学習を含めた毎授業への取組む姿勢						
課題に対する フィードバック	放課後などを利用し、個別に面接練習などを実施する						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	<p>就職研究Ⅰを履修していること。</p> <p>各自志望する業種・職種について、具体的に企業が絞れている場合はその企業について、しっかりと研究を進めておくこと。</p>						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	就職活動の概要	就職関連行事、就職活動・キャリアセンターの利用法 自己分析、業界研究、履歴書の仕上げを行う	
2	エントリー対策	エントリー対策 校内合説用自己PRシートの作成を行う	
3	校内合説対策1	校内合説の概要、参加企業についての説明 参加企業のピックアップ、自己PRシートの作成を行う	
4	校内合説対策2	校内合説の動き方、合説後の活動の流れについて説明し、 応募書類の確認を行う	
5	校内合説対策3	合説参加企業から個別説明会参加企業をピックアップし、 その企業について企業研究を行う	
6	採用試験対策1	応募書類、採用試験についての対策を行う (SPI、一般常識、作文、面接練習など)	
7	採用試験対策2	応募書類、採用試験についての対策を行う (SPI、一般常識、作文、面接練習など)	
8	採用試験対策3	応募書類、採用試験についての対策を行う (SPI、一般常識、作文、面接練習など)	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220101
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	社会科学Ⅳ（経済）			担当者	黒田 茉莉花		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『地方初級・国家一般職（高卒者）問題集 社会科学 第2版』						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである社会科学（経済）の知識を基に、試験対策として演習問題を行う。						
到達目標	公務員試験の経済分野で60%以上の得点を挙げるための基礎知識を身に着ける。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題を採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	市場経済	演習問題（経済学説、経済主体、企業の種類、市場と価格）	
2	景気と金融政策	演習問題（インフレーションとデフレーション、銀行の役割、金融政策）	
3	財政政策と税金・通貨	演習問題（日本の財政、財政政策、日本の税金、通貨制度）	
4	国民所得と景気変動	演習問題（国民所得、景気変動）	
5	国際経済	演習問題（国際収支、国際通貨体制、経済機構、その他の国際機構・会議）	
6	日本の経済	演習問題（戦後日本経済の主な出来事、戦後日本の実質経済成長率）	
7	公務員試験対策Ⅰ	公務員過去問題および解説	
8	公務員試験対策Ⅱ	公務員過去問題および解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM220201
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	人文科学 V (世界史)			担当者	若田部 正行		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『地方初級・国家一般職(高卒者)問題集 人文科学 第2版』						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである人文科学(世界史)の知識を基に、試験対策として演習問題を行う。						
到達目標	公務員試験の社会科学分野で60%以上の得点を挙げるための基礎知識を身に着ける。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題を採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	古代	演習問題（古代文明、オリエント統一、古代ギリシア、古代ローマ）	
2	中世ヨーロッパ	演習問題（ゲルマン民族の大移動、フランク王国の統一と発展、ローマ教皇の権力、十字軍の遠征）	
3	近代ヨーロッパの誕生	演習問題（イタリアのルネサンス、大航海時代、宗教改革）	
4	近代国家の形成（1）	演習問題（絶対王政、絶対王政期の戦争、イギリス立憲政治の確立）	
5	近代国家の形成（2）	演習問題（アメリカ独立戦争、フランス革命とナポレオン、産業革命）	
6	東洋史（1）	演習問題（中国史（古代～元））	
7	東洋史（2）	演習問題（中国史（明～現代）、南アジアと西アジア）	
8	現代の社会・通史	演習問題（第一次世界大戦前の世界、第一次世界大戦、第二次世界大戦、冷戦時代）	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220301
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	人文科学 VI (地理)			担当者	黒田 茉莉花		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『地方初級・国家一般職（高卒者）問題集 人文科学 第2版』						
科目概要	公務員試験の教養科目の一つである人文科学（地理）の知識を基に、試験対策として演習問題を行う。						
到達目標	公務員試験の地理分野60%以上の得点を挙げるための基礎知識を身に着ける。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題を採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	地図の図法・世界の地形	演習問題（地図の図法、大地形、山地地形、平野地形、海岸地形）	
2	世界の気候	演習問題（ケッペン気候区分、各気候区分の特徴、各気候区の雨温図とハイサーグラフ）	
3	世界の産業（1）	演習問題（農林水産業、主な農産物、木材生産国、農業形態）	
4	世界の産業（2）	演習問題（鉱山資源、鉱山資源の産出国、世界の主な炭田・油田・鉄鉱山・鉱山）中間テスト	
5	各国の地誌、人種、言語	演習問題（アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ、CIS諸国、北米諸国、中米諸国、南米諸国）	
6	人口問題、都市問題、環境問題	演習問題（人口ピラミッド、日本の人口ピラミッド、温暖化の進行状況）	
7	日本の地誌	演習問題（農畜産物・林産業、水産物の主要産地、日本の工業）	
8	練習問題	公務員試験過去問題	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220401
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	自然科学Ⅴ（物／化）			担当者	戸谷 幸永		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 自然科学						
科目概要	公務員試験の教養科目である自然科学の物理分野を習得する。						
到達目標	公務員試験の自然科学物理分野と科学分野で満点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	力と運動1	力と運動1 解説と演習。	
2	力と運動2	力と運動2 解説と演習。	
3	力と運動・エネルギー	力と運動・エネルギー 解説と演習。	
4	波動	波動 解説と演習。	
5	電気物理学	電気物理学 解説と演習。	
6	原子と原子核	原子と原子核 解説と演習。	
7	酸化・還元	酸化・還元 解説と演習。	
8	有機化学	有機化学 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2 KM220501
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	文章理解Ⅲ			担当者	尾内 由美子		
	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験 地方初級・国家一般職（高卒者）問題集 国語・文章理解 第2版（TAC株式会社） 本校作成プリント						
科目概要	9月に本格的に始まる公務員試験に向けて、国語の知識と文章（現代文）の読解（要旨把握、内容把握、空欄補充、文章整序）、古文、英文（英熟語含む）などの練習問題を中心に、今までの知識を定着させる。						
到達目標	<p>Ⅰ期目よりも、より実践的に下記の力を身に付けることを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代文の長文読解を、短時間で把握できる基本的な力を身に付ける。 2. 語彙力を身に付ける。 3. 例示と主要部分の違いを見極める基本的な力を付ける。 4. 指示語や接続詞など、文章の展開に留意して読み解く力を身に付ける。 						
評価方法	授業に取り組む態度（各回5点満点、計40点）と統一試験（100点満点）で成績を付ける。						
課題に対する フィードバック	授業中に課題に取り組みながら、苦手な点について解説を加える。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	文章理解の概要	要点の説明（現代文の長文読解） 指示語・接続詞・着目する表現を整理しよう	
2	要旨把握①	練習問題 1～10問題演習・解き方の解説	
3	要旨把握②	練習問題11～20問題演習・解き方の解説	
4	内容把握①	練習問題31～40問題演習・解き方の解説	
5	内容把握②	練習問題41～50問題演習・解き方の解説	
6	文章整序	文章整序 1～17問題演習・解き方の解説	
7	空欄補充	空欄補充 1～20問題演習・解き方の解説	
8	力試し問題	まとめ問題	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220601
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	数的推理Ⅳ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 数的推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の数的推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
2	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
3	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
4	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
5	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
6	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
7	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
8	過去問演習	過去問演習と適宜解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM220701
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	判断推理Ⅳ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 判断推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である判断推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の判断推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習	
2	過去問演習	過去問演習	
3	過去問演習	過去問演習	
4	過去問演習	過去問演習	
5	過去問演習	過去問演習	
6	過去問演習	過去問演習	
7	過去問演習	過去問演習	
8	過去問演習	過去問演習	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220801
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験総合対策Ⅱ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 数的推理 判断推理 資料解釈						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理・判断推理・資料解釈を習得する。						
到達目標	公務員試験の理系分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	数的推理図形	数的推理図形 解説と演習。	
2	数的推理図形	数的推理図形 解説と演習。	
3	数的推理図形	数的推理図形 解説と演習。	
4	判断推理対応関係	判断推理対応関係 解説と演習。	
5	判断推理対応関係	判断推理対応関係 解説と演習。	
6	判断推理対応関係	判断推理対応関係 解説と演習。	
7	資料解釈増減率	資料解釈増減率 解説と演習。	
8	資料解釈増減率	資料解釈増減率 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM220901
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験総合対策Ⅲ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職（高卒者）テキスト 数的推理 判断推理 資料解釈						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理・判断推理・資料解釈を習得する。						
到達目標	公務員試験の理系分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	数的推理場合の数	数的推理場合の数 解説と演習。	
2	数的推理場合の数	数的推理場合の数 解説と演習。	
3	数的推理場合の数	数的推理場合の数 解説と演習。	
4	判断推理順位・順序	判断推理順位・順序 解説と演習。	
5	判断推理順位・順序	判断推理順位・順序 解説と演習。	
6	判断推理順位・順序	判断推理順位・順序 解説と演習。	
7	資料解釈指数	資料解釈指数 解説と演習。	
8	資料解釈指数	資料解釈指数 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	選択	単位数	1	科目コード	2KM221001
開講期	Ⅱ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	模擬試験Ⅲ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験 初級・Ⅲ類 過去問 業者模試(TAC)						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理を習得する。						
到達目標	公務員試験教養科目で6割超の正答ができるようにする。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、毎回の模擬試験の結果を60点満点換算し、合計点で評価する。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	実施したテストの採点をし、問題ごと個人ごとのデータ蓄積を行う。学科内順位や各自の得意単元苦手単元をフィードバックし、日々の勉強方針を立てる上での指標とさせる。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
2	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
3	地方初級過去問	地方初級過去問 模擬試験と解説。	
4	業者模試	業者模試 模擬試験と解説。	
5	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
6	国家初級過去問	国家初級過去問 模擬試験と解説。	
7	地方初級過去問	地方初級過去問 模擬試験と解説。	
8	業者模試	業者模試 模擬試験と解説。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM230101
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	面接対策Ⅰ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	1	科目コード	2KM230201
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	面接対策Ⅱ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230301
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	面接対策Ⅲ			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230401
開講期	Ⅲ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験対策基礎Ⅰ(春)			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数的推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の数的推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	三角形の相似条件	三角形の相似条件 解説と演習。	
2	平行線と線分比	平行線と線分比 解説と演習。	
3	三角形の成立条件・三平方の定理	三角形の成立条件・三平方の定理 解説と演習。	
4	三角形の重心・外心・内心	三角形の重心・外心・内心 解説と演習。	
5	面積	面積 解説と演習。	
6	面積と比	面積と比 解説と演習。	
7	円周角	円周角 解説と演習。	
8	三角形の合同条件	三角形の合同条件 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230501
開講期	Ⅲ期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験対策基礎Ⅱ(春)			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 数的推理						
科目概要	公務員試験の教養科目である数的推理を習得する。						
到達目標	公務員試験の数的推理分野で50%以上の得点をとる。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	円と接線	円と接線 解説と演習。	
2	立体図形	立体図形 解説と演習。	
3	場合の数	場合の数 解説と演習。	
4	円順列	円順列 解説と演習。	
5	同じものを含む順列	同じものを含む順列 解説と演習。	
6	組合せの応用	組合せの応用 解説と演習。	
7	確率の基本法則と和事象・積事象	確率の基本法則と和事象・積事象 解説と演習。	
8	和事象の確率	和事象の確率 解説と演習。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230601
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論1			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230701
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論2			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230801
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論3			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM230901
開講期	Ⅲ期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論4			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	『現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本』						
科目概要	公務員試験面接対策						
到達目標	公務員試験面接試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、授業内テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
2	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
3	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
4	自己分析	自己PR・志願理由などを推敲する。	
5	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
6	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
7	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	
8	模擬面接練習	模擬面接練習を繰り返し、面接技能を上げる。	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240101
開講期	IV期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験直前対策Ⅲ（夏）			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験過去問題						
科目概要	公務員試験過去問題の演習						
到達目標	公務員試験一次試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
2	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
3	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
4	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
5	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
6	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
7	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
8	過去問演習	過去問演習と適宜解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240201
開講期	IV期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験直前対策Ⅳ（夏）			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験過去問題						
科目概要	公務員試験過去問題の演習						
到達目標	公務員試験一次試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
2	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
3	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
4	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
5	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
6	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
7	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
8	過去問演習	過去問演習と適宜解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240301
開講期	IV期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験直前対策Ⅰ（夏）			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験過去問題						
科目概要	公務員試験過去問題の演習						
到達目標	公務員試験一次試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
2	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
3	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
4	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
5	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
6	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
7	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
8	過去問演習	過去問演習と適宜解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240401
開講期	IV期	形態	演習	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	受験直前対策Ⅱ（夏）			担当者	大熊 宏毅		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	公務員試験過去問題						
科目概要	公務員試験過去問題の演習						
到達目標	公務員試験一次試験突破を目指す。						
評価方法	授業態度と提出物を基礎点40点、学期末テストを60点換算、計100点満点で絶対評価を行う。 80点以上：優 70点以上：良 60点以上：可 60点未満：不可						
課題に対する フィードバック	提出された課題は全て採点して返却する。 提出された課題から、学生たちの苦手分野を洗い出し、次回以降授業で復習と再テストを行う。						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	特になし。						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
2	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
3	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
4	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
5	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
6	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
7	過去問演習	過去問演習と適宜解説	
8	過去問演習	過去問演習と適宜解説	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240501
開講期	IV期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論 5			担当者	二重作 圭祐		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	日商簿記3級に合格するためのテキスト・問題集・過去問題集						
科目概要	<p>日々、おこなわれる取引を一定のルールにしたがって仕訳をおこない、その仕訳をもとに帳簿（元帳）へ転記する。転記された帳簿の正誤を確認するため試算表を作成し、決算日（期末）に一定期日の財政状態をあらわす貸借対照表や、一定期間に経営成績を表す損益計算書等の財務諸表を作成し利害関係者へ報告する。また、内部資料として財政状態や経営成績を分析、確認するために必要な精算表を作成する。この一連の流れを、企業は設立してから解散するまで毎期ごと、継続しおこない、経営分析や会社経営に役立てることを目的とする。</p>						
到達目標	日商簿記検定3級合格						
評価方法	<p>問題集の提出・検定前補講の出席を加点したうえで、日商簿記検定3級の本試験の粗点において評価を付ける。</p> <p>粗点+加点 80点以上「優」 70～79「良」 60～69「可」 60未満「不可」の4段階評価</p>						
課題に対する フィードバック	<p>問題集の提出を義務付けることにより、学生個々の理解度を把握するとともに課題を指摘し本試験に向けての対策を練る。</p>						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	履修要件なし						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	身のまわりの簿記	簿記の目的と財務諸表・簿記の基本	
2	貸借対照表	勘定科目と5つのグループ	
3	仕訳と転記	仕訳のルール・転記の仕方・仕訳帳	
4	現金と預金	簿記上の現金・預金の種類	
5	損益計算書	収益及び費用と利益	
6	商品売買取引①	三分法・返品・掛け取引	
7	商品売買取引②	分記法・手付金の処理・商品券	
8	固定資産	固定資産の概要・減価償却	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240601
開講期	IV期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論 6			担当者	二重作 圭祐		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	日商簿記3級に合格するためのテキスト・問題集・過去問題集						
科目概要	<p>日々、おこなわれる取引を一定のルールにしたがって仕訳をおこない、その仕訳をもとに帳簿（元帳）へ転記する。転記された帳簿の正誤を確認するため試算表を作成し、決算日（期末）に一定期日の財政状態をあらわす貸借対照表や、一定期間に経営成績を表す損益計算書等の財務諸表を作成し利害関係者へ報告する。また、内部資料として財政状態や経営成績を分析、確認するために必要な精算表を作成する。この一連の流れを、企業は設立してから解散するまで毎期ごと、継続しおこない、経営分析や会社経営に役立てることを目的とする。</p>						
到達目標	日商簿記検定3級合格						
評価方法	<p>問題集の提出・検定前補講の出席を加点したうえで、日商簿記検定3級の本試験の粗点において評価を付ける。</p> <p>粗点+加点 80点以上「優」 70～79「良」 60～69「可」 60未満「不可」の4段階評価</p>						
課題に対する フィードバック	<p>問題集の提出を義務付けることにより、学生個々の理解度を把握するとともに課題を指摘し本試験に向けての対策を練る。</p>						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	履修要件なし						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	その他の債権・債務①	約束手形・電子記録債権・債務	
2	その他の債権・債務②	手形貸付・借入金・未収入金・未払金	
3	一時的な処理	仮払金・仮受金・法人税・消費税の処理	
4	会社の設立	株式会社の設立・純利益の算定・配当	
5	試算表作成	試算表の作成・訂正仕訳	
6	決算整理①	売上原価の算定・貸倒れの処理	
7	決算整理②	費用・収益の見越・繰延、再振替仕訳	
8	精算表	精算表の作成	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	専門	単位数	1	科目コード	2KM240701
開講期	IV期	形態	講義	配当時間	24	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	総合特論 7			担当者	二重作 圭祐		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	日商簿記3級に合格するためのテキスト・問題集・過去問題集						
科目概要	<p>日々、おこなわれる取引を一定のルールにしたがって仕訳をおこない、その仕訳をもとに帳簿（元帳）へ転記する。転記された帳簿の正誤を確認するため試算表を作成し、決算日（期末）に一定期日の財政状態をあらわす貸借対照表や、一定期間に経営成績を表す損益計算書等の財務諸表を作成し利害関係者へ報告する。また、内部資料として財政状態や経営成績を分析、確認するために必要な精算表を作成する。この一連の流れを、企業は設立してから解散するまで每期ごと、継続しおこない、経営分析や会社経営に役立てることを目的とする。</p>						
到達目標	日商簿記検定3級合格						
評価方法	<p>問題集の提出・検定前補講の出席を加点したうえで、日商簿記検定3級の本試験の粗点において評価を付ける。</p> <p>粗点+加点 80点以上「優」 70～79「良」 60～69「可」 60未満「不可」の4段階評価</p>						
課題に対する フィードバック	<p>問題集の提出を義務付けることにより、学生個々の理解度を把握するとともに課題を指摘し本試験に向けての対策を練る。</p>						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	履修要件なし						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	財務諸表	損益計算書と貸借対照表の作成	
2	帳簿組織①	会社の帳簿・主要簿の記帳	
3	帳簿組織②	補助簿	
4	伝票会計	3伝票制・仕訳日計表	
5	直前検定対策①	総合演習（過去問題集を使用）	
6	直前検定対策②	総合演習（過去問題集を使用）	
7	直前検定対策③	総合演習（過去問題集を使用）	
8	直前検定対策④	総合演習（過去問題集を使用）	

太田情報商科専門学校 シラバス

開講年度	令和4年度	区分	必修	単位数	2	科目コード	2KM240802
開講期	IV期	形態	実習	配当時間	48	対象年次	2年次
学科名 コース名	公務員2年制						
科目名	卒業研究			担当者	尾内 由美子		
	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
使用教材	研究分野資料・教材						
科目概要	<p>専門学校での各専攻分野の研究論文の作成・発表を行う。各学生ごとに選んだテーマの資料・教材を集め、研究・論文作成を行う。中間報告・終了報告を行わせ、各学生の進捗度も考慮したアドバイスを適宜行う。最後の授業にて論文内容を要約した発表を行う。</p>						
到達目標	<p>在学中に学んだ分野の研究・報告をさせることで、専門分野の知識を深めることを目標とする。</p>						
評価方法	<p>提出期限を厳守させたいので、学期末にレポートを提出。担当教員・コース担当教員で内容・分析結果を確認し、相対的に評価を行う。「優」「良」「可」「不可」の4段階評価。</p>						
課題に対する フィードバック	<p>レポートに対しての講評を学生個々に行い、分析結果に対してのアドバイスを行う。</p>						
履修要件 (準備学習の具 体的 な内容)	なし						

太田情報商科専門学校 シラバス

授業計画

回	単元	内容	備考
1	論文テーマの決定	研究分野の選定	
2	論文テーマの資料集め	各種研究分野の資料集め	
3	論文作成①	参考資料を基にレポート作成①	
4	論文作成②	参考資料を基にレポート作成②	
5	論文作成③	参考資料を基にレポート作成③	
6	論文作成④	参考資料を基にレポート作成④	
7	論文作成⑤	参考資料を基にレポート作成⑤	
8	中間報告	各学生ごとに進捗度を教員に報告	
9	論文作成⑥	参考資料を基にレポート作成⑥	
10	論文作成⑦	参考資料を基にレポート作成⑦	
11	論文作成⑧	参考資料を基にレポート作成⑧	
12	論文作成⑨	参考資料を基にレポート作成⑨	
13	論文作成⑩	参考資料を基にレポート作成⑩	
14	発表準備①	プレゼン資料作成①	
15	発表準備②	プレゼン資料作成②	
16	論文発表	プレゼン資料を利用して発表	